

# ジャーナリズム実習基礎

科目ナンバリング SOC-205  
選択必修B 2単位

阪本 博志

## 1. 授業の概要(ねらい)

本年1月3日に本学が第8位を獲得した箱根駅伝をはじめ高校野球等、マスメディアが主催しマスメディアによって広く伝達される、メディアイベントとしてのスポーツ大会は、ジャーナリズムにおいて欠かせない位置を占めている。「ジャーナリズム実習基礎」「ジャーナリズム実習」は、このスポーツ大会を手がかりに、ジャーナリズムに対する理解を深めるものである。

授業の具体的な進行は、次のとおりである。

前期「ジャーナリズム実習基礎」では、テキスト(黒田勇編著『メディアスポーツへの招待』)を読み進める。発表担当者が当該章を発表する。受講者には、毎回の講読シートへの記入とその内容などを授業中に発言することが求められる。このようにしてメディアとスポーツについての基礎知識を得たのち、後期「ジャーナリズム実習」においてグループワーク(スポーツとジャーナリズムにかんする特定のテーマに沿った調査)をおこなう準備をし、後期の調査研究についての計画書を提出する。

後期「ジャーナリズム実習」では、前期に決めたテーマに沿って、調査・研究をおこなう。調査では、「聞蔵」「ヨミダス歴史館」「Web OYA-bunko」等MELICのデータベースを活用する。そして調査で得た知見を、授業中に発表をする。そこで得たコメント等を踏まえ期末レポートを作成する。

「ジャーナリズム実習」の授業は、「ジャーナリズム実習基礎」の履修を前提に進める。したがって、「ジャーナリズム実習」受講希望者は、「ジャーナリズム実習基礎」の履修が望ましい。

クラス規模は、25名程度を想定している。

## 2. 授業の到達目標

- ①スポーツとメディアとの関係を理解・把握することができる。
- ②「ジャーナリズム実習」において調査を進める準備を整える。

## 3. 成績評価の方法および基準

授業中の発表 20%

講読シート 60%

計画書 20%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

黒田勇編著 『メディアスポーツへの招待』 ミネルヴァ書房

## 5. 準備学修の内容

テキストを1章ずつ読み進め、ポイント等を講読シートに記入する。

## 6. その他履修上の注意事項

- ①受講人数によって、内容や進度の調整をすることがある。
- ②発表予定者が予定日にやむをえない理由(学生便覧記載のもの)以外で欠席した場合には、事後の発表を認めず、単位を認定しないことがある。発表予定者が当日欠席せざるをえなくなったときには、可能な範囲内ですみやかに担当教員までメールにて連絡をすること。
- ③「ジャーナリズム実習」の授業は、「ジャーナリズム実習基礎」の履修を前提に進める。「ジャーナリズム実習」受講希望者は、「ジャーナリズム実習基礎」の履修が望ましい。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 テキストの発表担当者を決める。時間に余裕があれば資料映像(映画)を視聴する。
- 【第2回】 資料映像(映画)を視聴する。
- 【第3回】 テキスト第1章
- 【第4回】 テキスト第2章
- 【第5回】 テキスト第3章
- 【第6回】 テキスト第4章
- 【第7回】 テキスト第5章
- 【第8回】 テキスト第6章
- 【第9回】 テキスト第7章
- 【第10回】 テキスト第8章
- 【第11回】 テキスト第9章
- 【第12回】 テキスト第10章
- 【第13回】 テキスト第11章
- 【第14回】 「ジャーナリズム実習」グループワークに向けての準備(1)
- 【第15回】 「ジャーナリズム実習」グループワークに向けての準備(2)